

2025年度 公立大学法人大阪第7回役員会議事要旨

日時：2025年10月8日（水）9時30分～11時00分

場所：UR森之宮ビル3階 役員会議室

構成員：福島理事長、櫻木副理事長、酒井理事、丸尾理事、高橋理事、徳永理事、重松理事、
中村理事、帯野理事、藤本理事、藤沢理事(オンライン)、宮部理事(欠席)

監事：白井監事、前田監事

陪席者：露口本部事務機構長、大久保本部事務機構次長、石井本部事務機構次長、富宅阿倍野
キャンパス事務局長、柴山企画総括部長、石田総務部長、森岡企画部長、肥田人事戦
略部長、吉岡財務部長、船野学長室長、寺田阿倍野キャンパス事務局事務部長

【報告事項】

1 OMU外部資金強化戦略・研究戦略について

徳永理事より、OMU 外部資金強化戦略・研究戦略について報告があった。

<主な意見等>

- ・女性研究者支援プログラムでは、補助人員の配置や家庭事情への配慮などが重要である。
→本学は文部科学省の「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」に採択され、従来の取り組みを加速させる形で女性研究者支援事業を実施しており、研究支援員や病児保育などの支援を行っている。
- ・共同研究について、企業側は大学に対して敷居が高いと感じている可能性があるため、大学側から積極的にアプローチすべきである。
- ・基盤研究(A)の件数はどのようになっているのか。
→6件採択されており、文学・理学・医学から各1件、工学から3件である。
- ・若手研究者が科研費申請を避ける傾向があるが、教員評価に申請状況は反映されているのか。
→統合前の大阪府立大学時代には申請状況を評価に反映していたので、申請していない教員への基盤的研究費配分の是非を検討予定である。

2 情報発信・ブランド戦略（26年度以降）について

森澤副学長より、情報発信・ブランド戦略（26年度以降）について報告があった。

<主な意見等>

- ・情報発信について、紙媒体とウェブ媒体のバランスはどのように考えているのか。
→紙媒体は受験生向けガイドブックや報告書などで使用。ウェブは自らクリックしないと閲覧できないが、紙は届くだけで目に入る利点がある。両者を使い分けていく方針である。
- ・戦略は具体性があるので、半期に一度程度でKPIの進捗状況と課題を共有いただきたい。

3 第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果について

高橋理事および森岡企画部長より、第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果について報告があった。

【その他事項】

1 森之宮キャンパス開設記念式典および記念講演会の実施報告について

石田総務部長より、森之宮キャンパス開設記念式典および記念講演会について、来場者数

(399名(うち学外231名))や報道状況について報告があり、高橋理事より開設後の森之宮キャンパスの様子について状況報告があった。

<主な意見等>

- ・りんくうキャンパスなど他キャンパスの学生や教職員との連携をさらに推進していく必要がある。
- ・森之宮周辺の家賃や学生の住環境はどのようになっているのか。
→大阪市の中心部は高いが、周辺地域では比較的安価な住宅もある。学生向けマンションも整備されており、セキュリティや食事付きの選択肢もある。

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上